



令和 7 年 8 月 7 日
総合政策局地域交通課
総合政策局モビリティサービス推進課

「交通空白」解消パイロット・プロジェクト 第 5 弾を発表します！

国土交通省では、『交通空白』解消・官民連携プラットフォームを設置し、官民関係者の幅広い連携をもとに、全国各地において「交通空白」の解消に向けた取組を進めています。この度、同プラットフォームの取組の一つである『交通空白』解消パイロット・プロジェクトについて、第 5 弾を発表いたします。

「交通空白」解消に向けたパイロット・プロジェクトは、「交通空白」解消・官民連携プラットフォームのもと、全国で共通の「交通空白」に係る課題を抱える自治体や交通事業者と、その解決に寄与するソリューションを持つパートナー企業等が、国土交通省や各地方運輸局の伴走のもと連携・協働することにより、全国一斉での「交通空白」解消に寄与する事業を実施するものです。

このたび、パイロット・プロジェクト第 5 弾として 5 件のプロジェクトをお知らせいたします。

なお、今後『交通空白』解消・官民連携プラットフォームのイベント等において、これまでに発表した各プロジェクトの時点報告を実施する予定です。各事業の課題や成果を広く共有しながら、全国展開を推進します。

「交通空白」解消パイロット・プロジェクト

- 01 働き手不足に負けない「強い」事業基盤の構築
 - ① 既存地域コミュニティのフル活用でドライバー確保～「コミュニティ NE0」
 - ② 共助による地域交通の自立化確立支援事業
- 02 若者や女性に選ばれる「楽しい」地域交通
 - ③ 部活動の地域展開等に向けた移動手段の確保
 - ④ 子育て世代が担う共助版ライドシェア/小中学生の移動手段確保
- 04 観光二次交通や情報発信の充実
 - ⑤ 観光と生活の足のハイブリッドの取組

※ プロジェクトの詳細については別紙資料に記載しております。

＜内容全般についての問合せ先＞

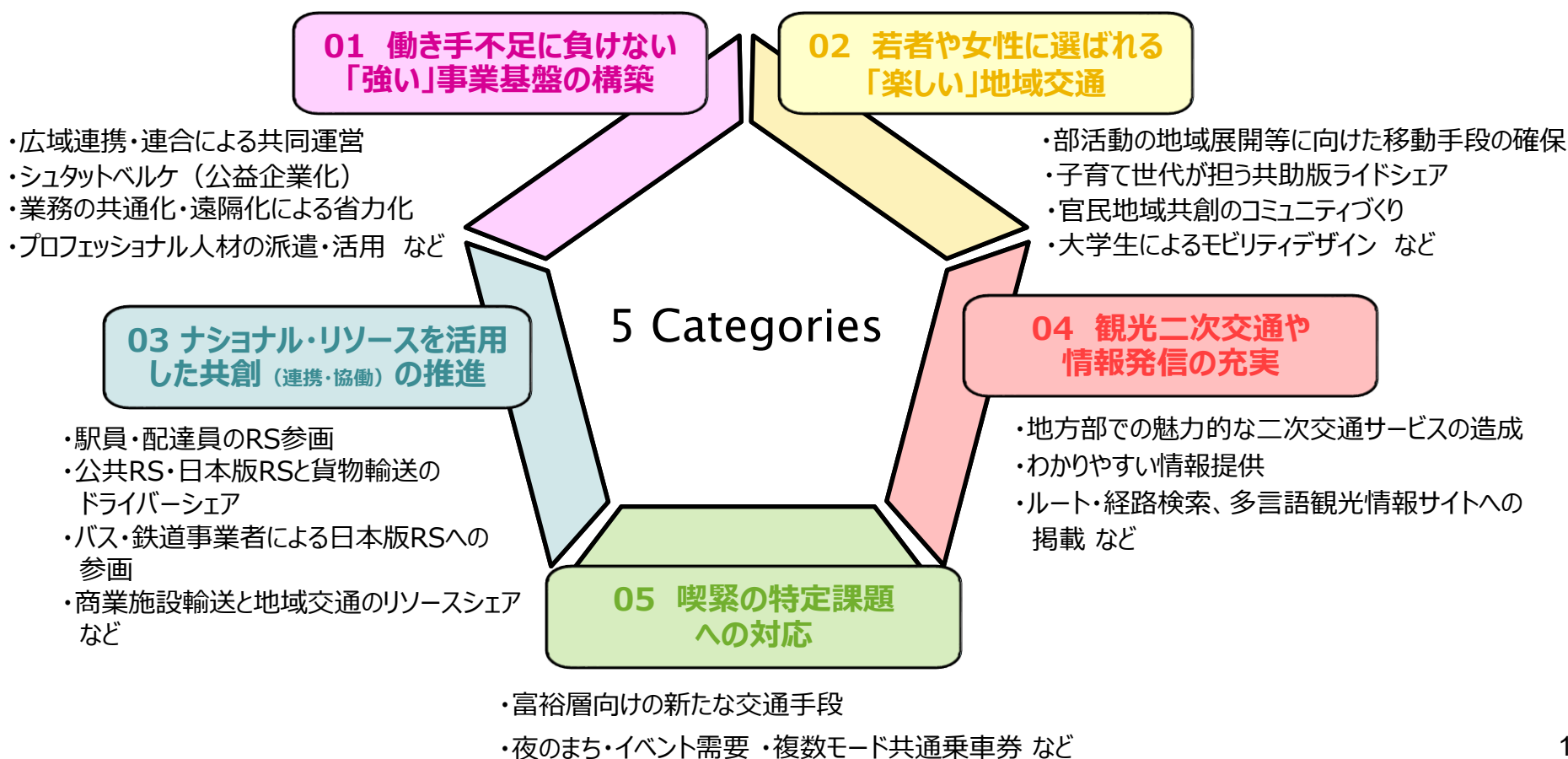
総合政策局 地域交通課 西山・菊地・阿南・春見・阿部
03-5253-8111（内線 54-827、54-724）、03-5253-8987（直通）

＜プロジェクト②についての問合せ先＞

総合政策局 モビリティサービス推進課 東海林
03-5253-8111（内線 54-913）、03-5253-8980（直通）

「交通空白」解消に向けたパイロット・プロジェクトの展開

- 加速する人口減少・働き手不足の下において、地方創生の基盤である地域交通を守るため、従来の発想を超える **持続可能な地域交通の「新しいカタチ」を官民で創出**する。
- 「交通空白」解消・官民連携プラットフォーム（会員数：1,235（R7.7.31時点））のもと、**2030年頃を見据え、全国展開・実装が期待される新しい仕組み（運営、技術・サービス、システム、人材等）の構築**に取り組む。
- **令和7年度は、以下の5分野を重点テーマに実証事業（順次公表）を展開。**



プロジェクト名	パートナー企業	実証地域	概要
---------	---------	------	----

01 働き手不足に負けない「強い」事業基盤の構築

① 共同化・協業化

タクシー配車業務・システムの共通化	電脳交通	全国複数箇所	地域の複数のタクシー会社の連携による一元的な配車システムの導入手法を標準化するとともに、配車アプリ・配車システム間のシステム連携仕様を標準化。ワンストップアプリによる共同配車の先進事例を創出し、生産性向上のモデルケースとして全国展開を図る。
共同化・協業化による持続可能な地域交通の実現	— Community Mobility 株式会社	石川県能登地域 長野県南信州圏 域内 静岡県賀茂南西エ リア 茨城県つくば市・土 浦市・下妻市・牛 久市	既存の交通モードの共同運営化（予約配車の共同化等）や広域化（自治体またぎの運行）によりスケールメリットを生かした、効率的かつ安定的な地域交通の確保
過疎地版交通マネジメント組織の立ち上げ	庄原商工会議所 順風路	広島県北部地区	過疎地版モビリティサービスの教育・安全・運行管理マネジメントシステムの開発、多様な担い手人材確保の仕組みの構築等を実施することにより、過疎地域における空白解消マネジメントシステムを確立し、マニュアル化して全国の類似地域に水平展開。
官民連携による地域人材を活用した交通空白解消に向けた取組	第一交通産業 西鉄バス北九州 北九州高速鉄道 ネクスト・モビリティ 北九州市交通局 北九州タクシー協会	福岡県北九州市	交通空白地域において、鉄道や路線バスの補完として運行する小型車両による乗合交通「おでかけ交通」の担い手確保として、地域住民を活用し持続可能な交通体系を構築。
既存地域コミュニティのフル活用でドライバー確保～「コミュニティNEO」	博報堂	富山県朝日町 奈良県おくだ （宇陀市等） 静岡県東伊豆町	既存地域コミュニティをフル活用し、より幅広い関係者の参画を得て持続的・安定的なドライバー人材確保を目指す。地域住民だけに頼らない、持続性の高い運行体制を実現。
共助による地域交通の自立化確立支援事業	オムロンソーシャルソリューションズ	京都府舞鶴市	「meemo」アプリや電話予約を用いて送迎マッチング・配車を行うことで、住民同士の共助による公共ライドシェアを実施。 また、R7年度には新たな「meemo」アプリの導入によるさらなる機能拡充・利便性向上に向けた取組を実施。

プロジェクト名	パートナー企業	実証地域	概要
---------	---------	------	----

01 働き手不足に負けない「強い」事業基盤の構築

② 標準化			
バス業務の標準化推進	フューチャー アーキテクト	全国複数箇所	バス業務の標準的な業務モデルを作成し、これに基づく標準的なシステム構成やデータインターフェースの仕様を策定する。 業界と幅広く連携することで標準業務モデルのフィジビリティ向上を図るとともに、標準仕様にに基づくシステム実証を行うことで、その有用性を検証する。
ダイヤ貼替業務省力化プロジェクト	小田原機器 MaaS Tech Japan 長崎自動車	長崎県長崎市	バス車両に搭載した車載器とバス停間でデータの送受信を行うことで、ダイヤ改正や情報発信が可能なSIMレスバス停システムを開発する。 また、人流データ等を活用して最適なダイヤ改正案策定を支援するシステムを開発し、柔軟なダイヤ改正の企画と迅速な実装の双方を実現する。
QRコードによるチケット認証の標準化プロジェクト	トヨタファイナンス サービス、日本信号、 九州旅客鉄道、九州 産交バス、レシップ	熊本県熊本市	鉄道・バスの各交通事業者が発行するQRコードがMaaSアプリ等を介して相互に認証できるよう、ハブシステムを開発し、そのシステムインターフェースを標準化する。

02 若者や女性に選ばれる「楽しい」地域交通

学生やスタートアップと連携した地域交通コミュニティの形成	角川アスキー総合研 究所 津田塾大学	東京都、広島県、 福岡県福岡市 福井県鯖江市	「若者や女性に選ばれる「楽しい」地域交通」の実現に向け、以下の施策を実施することで、若者や女性、スタートアップなど新たなプレイヤーを巻き込んだ地域交通コミュニティを形成する。
部活動の地域展開等に向けた移動手段の確保	士別市地域公共交 通活性化協議会 合同会社まると スポーツリンクしらかわ くまがしクラブ うんぜん共創プラット フォーム	北海道士別市 長野県東御市 岐阜県白川町 奈良県平群町 長崎県雲仙市	交通事業者や教育・公共交通分野、文部科学省が連携し、平日は幼児から中学生まで、休日は全世代を対象にこども園、学校、スポーツセンター、駅、住宅を結ぶバスや乗合タクシーを実証運行。
子育て世代が担う共助版ライドシェア/ 小中学生の移動手段確保	地域共創射水PF 地域公共交通鯖江 全国自治体ライド シェア連絡協議会	富山県射水市 福井県坂井市 佐賀県武雄市	地域住民や交通業者・教育・公共交通分野等が連携し、小中学生の通学等を対象に保護者による許認可不要の自家用車での互助送迎や乗合タクシー送迎、既存路線バスを活用した取組みを実施。 既存の地域交通とのネットワークなどの活用により、高齢者や学童に限定しない、地域の交通弱者が利用可能な移動の仕組み構築にも取り組む。

プロジェクト名	パートナー企業	実証地域	概要
---------	---------	------	----

03 ナショナル・リソースを活用した共創（連携・協働）の推進

鉄道事業者等のライドシェア協力	JR東日本	千葉県南房総市、館山市	地域住民の日常の足及び観光地等における鉄道駅からの二次交通の確保について、鉄道事業者社員がドライバーに協力することで、公共RSの持続性確保・向上を図り、「地域住民の足」「観光客の足」の確保に取り組む。
施設送迎（宿泊、介護、教育）のリソースシェア	ソーシャルアクション機構	群馬県みなかみ町等 全国複数箇所	複数の施設送迎車両の運行計画立案や運行管理等を行うための共同配車管理システムを開発する。 システムは施設職員等の非専門家の利用を想定し、簡易かつ直感的に利用可能なユーザー体験を提供する。 これにより、施設送迎車両による効率的な送迎や観光地への立ち寄りを可能とする。
日本版ライドシェアと貨物輸送のドライバーシェア	佐川急便 ヤマト運輸 Go	R6年度：東京都 埼玉県	ライドシェアの取組で確認されたスポット運送ワークの需要を貨物運送に展開。ラストマイル有償運送制度等を活用して、日本版RSに応募したドライバーが自家用車で荷物を運送するなど、ラストマイル運送に貢献。
公共ライドシェアドライバーによる貨客混載事業	日本郵便 Uber Japan	R6年度：石川県 加賀市 R7年度：未定	加賀市版ライドシェアの運行主体及びアプリを提供する Uber より、ライドシェアドライバーに貨物運送への参加を呼びかける。 日本郵便がラストマイル有償運送に係る許可取得及び希望するドライバーの登録を行った上、ドライバーは旅客運送の隙間時間に日本郵便のゆうパック配達を行う。
ヘルスケアMaaSの社会実装プロジェクト	富士通	徳島県徳島市	病院予約システムと連携した「離院時間」の予測を行うことで、診察予約時に往路に加えて復路の配車予約を自動的に行うデマンドバスサービスを開発する。
介護送迎のリソースシェア×介護予防に向けた外出機会の創出	ダイハツ工業	神戸市ほか	複数の通所介護施設の送迎業務を共同化し効率化を図り、これにより、介護人材不足を解消しつつ、日中の遊休車両を利用して高齢者の外出支援を行う仕組みを構築。
地方新聞社が主導する地域交通サービス理解・利用促進	全国地方新聞社連合会	新潟県内 3 カ所程度	地域メディアとして、民間企業・生活者の双方に働きかけることで、地域内における地域交通の制度の理解・利用促進を図り、持続的な事業継続につなげる。
カーシェアリングによる地域の法人車両活用プロジェクト	TRILL	長野県上田市、長野市、松本市	夜間や休日に遊休化している商用車等の法人車両を来訪者等が使用できる新たなシェアリングサービスとして、共同使用契約のスキームを活用した引き渡し・契約システムを開発。安心・安全を担保しつつ、利便性高く共同使用契約を活用したビジネスモデルを開発する。

プロジェクト名	パートナー企業	実証地域	概要
---------	---------	------	----

03 ナショナル・リソースを活用した共創（連携・協働）の推進

バス・鉄道事業者による日本版ライドシェアへの参画	東急バス 東京バス 全但バス いわさきコーポレーション 伊予鉄グループ	東京都内 沖縄本島内 兵庫県豊岡市竹野地域 鹿児島県指宿市、種子島町、屋久島町 愛媛県松山市、東温市、砥部町、松前町	旅客の輸送に携わる地域のバス・鉄道事業者が運行主体となり、日本版ライドシェアに参画する。バス・鉄道のダイヤに合わせた柔軟な運用に向けて、課題等を精査するため先行的なトライアルを実施する、
--------------------------	---	--	---

04 観光二次交通や情報発信の充実

改札ピッでタクシー手配	JR東日本 電脳交通	群馬県高崎市	新幹線等の予約システムとタクシー配車システムを連携させ、特急券等の購入時に特急到着駅を出発地としたタクシーを事前に予約できるサービスを実装する。改札システムと連携することで、利用者の乗車情報を取得し、予約及び配車タイミングの確定に活用する。
観光地におけるタクシーへのアクセス改善プロジェクト	電脳交通 JR四国 JR北海道 香川県タクシー利用 利便性向上協議会	香川県・愛媛県（予讃線等） 北海道名寄市・稚内市（宗谷本線）	二次元コードを特急列車、高速バス、旅客船の内部に設置し、到着に合わせたタクシーやAIオンデマンドバスの配車を可能とするサービスを提供。あわせて、観光施設や観光施設近隣の交通結節点等に二次元コードを設置し、簡易にタクシー配車を依頼するサービスを提供。
空港から観光地への接続強化	ジョルダン、他	北海道旭川市、東神楽町等（旭川空港周辺エリア）	航空の運航状況に応じた空港発路線バスの発着時間調整やタクシー手配を実現。
訪日外国人への「観光の足」の情報発信	ぐるなび	全国複数箇所	訪日外国人向けガイドサービスLIVEJAPANを用いて、訪日外国人旅行者が迷わず目的地に到着できるよう情報を整理した観光地やエリアにおいて、観光二次交通に関する情報を発信。
観光と生活の足のハイブリッドの取組	－	新潟県湯沢市 長崎県佐世保市、雲仙市	地域住民や地域おこし協力隊、観光施設の従業員等の協力のもと、市街地や観光スポットを結ぶ公共ライドシェア等を実証的に導入。

プロジェクト名	パートナー企業	実証地域	概要
---------	---------	------	----

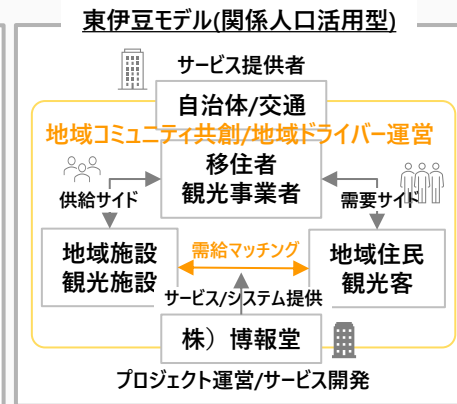
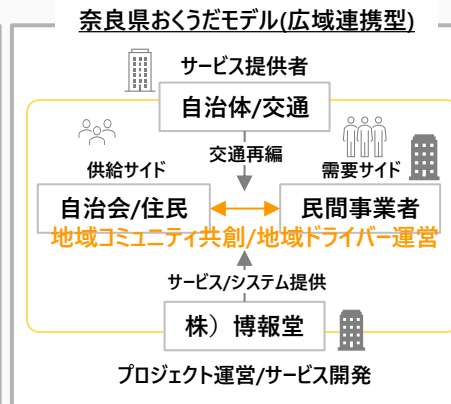
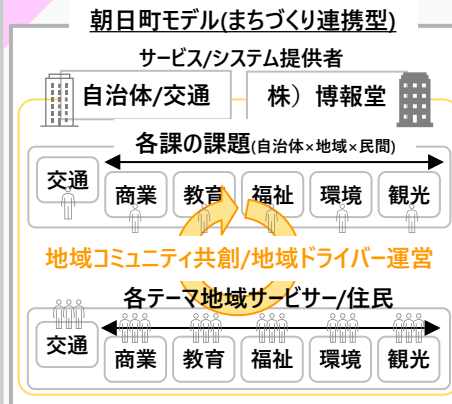
05 喫緊の特定課題への対応

リアルタイム相乗りタクシーマッチング	NearMe	都内複数箇所	従来、「事前予約」が原則であった「相乗りタクシー」について、リアルタイムに利用者のマッチングを行うマッチングシステムを開発。 利用者主体の募集や、潜在利用者に対するプッシュ通知など新たなサービス体験を開発することで、相乗り利用の利便性を飛躍的に向上させ、「観光の足」確保を図る。
タクシーと公共ライドシェアの共同運営	－	富山県南砺市 石川県小松市	タクシーが提供されている地域及び時間帯においても、タクシー車両の配車が困難な場合に、公共ライドシェア車両を配車する仕組みにより、移動サービスの提供機会を増加させ、住民等が希望するタイミングで移動できる環境を構築する。

Area R7年度 実証地域

- 富山県朝日町
- 奈良県おくだ（宇陀市等）
- 静岡県東伊豆町

Project Members 事業主体、パートナー企業・団体、関係省庁など



Background プロジェクト実施の背景

●公共ライドシェア「ノッカル」の導入

- ✓民間バスやタクシーの撤退や減少を受け、地域交通の新たな担い手として、地域のマイカーや住民ドライバーを活用した「ノッカル」を開発
- ✓バスやタクシーを補完する「公共ライドシェア」として、全国展開を開始

●公共ライドシェア運用の課題＝持続性

- ✓公共ライドシェアは、自治体が提供し地域住民がドライバーを担う
- ✓持続的/安定的な運行には、地域ドライバー人材の確保が大前提

●既存地域コミュニティのフル活用による持続的な運行体制

- ✓既存の地域コミュニティをフル活用し、ドライバー供給源を該当地域の地域住民だけに依存せず、より幅広い関係者の参画を得て持続的・安定的なドライバー人材確保を目指す取組み

※この取組みを通じて連携が拡大深化した地域コミュニティを「コミュニティNEO」と呼称

Outline プロジェクト概要

3 地域で各地域の既存コミュニティ特性に応じたドライバー確保モデルを実証

●富山県朝日町（まちづくり連携型）

- ✓交通事業者や地域住民だけではなく、地域内で移動の足の確保に課題を抱える商業・教育・福祉・観光などまちづくりに関わる地域のプレーヤーと連携し、地域全体でバス・タクシー・ノッカルの運行を担う

●奈良県おくだ（広域連携型）

- ✓自治体単位の交通網を、隣接自治体も含めた広域的な生活圈や商圏単位に広げて利便性を高めるため、民間企業や商業施設などと連携して広域運行を担えるドライバー確保を目指す

●静岡県東伊豆町（関係人口活用型）

- ✓地域内に多く存在する移住者や観光事業者の協力を得て、地域住民と共に、地域ドライバーを確保
- ✓観光地ならではのニーズである、夜間運行や観光施設向け運行を目指す

Effect 想定される効果

●地域住民だけに頼らない、持続的・安定的な地域交通の提供

- ✓高齢化が進む地域住民だけに依存しない、持続性の高い運行形態
- ✓各地域の特色を生かしたドライバー確保モデルの構築で、安定運行を可能にするとともに、地域コミュニティの馴染みやすいサービスに

Plan 今後の展開（他地域への事業展開構想・見通し）

●柔軟性の高い運行ダイヤや運行路線の実現

- ✓本取組みによる安定運行が可能になると、タクシーやバス運行が乏しい夜や休日の運行も可能に。ナイトノッカル、休日ノッカル、学生ノッカルなど、潜在ニーズを満たす多様な運行形態を提供予定

富山県朝日町モデル（まちづくり連携型）：
他分野連携/交通統合運用の実装



奈良県おくだモデル（広域連携型）：
生活圏や商圈を起点にした構想

- 各自治会総会・老人サロンとの連携
・自治会単位でのサービス説明会や利用登録会を実施



- 乗車機会の創出/町内施設（移動診療車・スーパー）との連携模索
・各地区⇒移動診療車、各地区⇒スーパーへの乗車体験会を実施



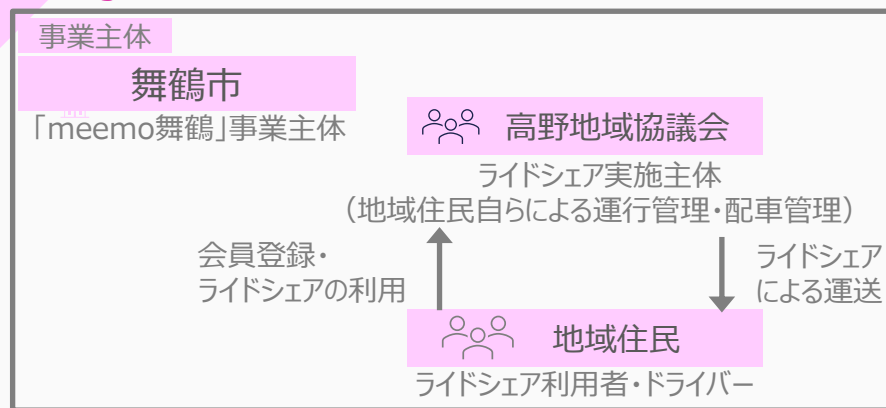
静岡県東伊豆町モデル（関係人口活用型）：移住者や観光事業者との共創によるナイトノックル実装や観光ノックル構想



Area R7年度 実証地域

京都府舞鶴市高野地域

Project Members 事業主体、パートナー企業・団体、関係省庁など



オムロンソーシャルソリューションズ(株)

- ・公共ライドシェア立ち上げ伴走支援
- ・ライドシェア運営システムの提供

Background プロジェクト実施の背景

高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段の確保という課題に対し、住民同士の送迎サービスを実施するため、高野地域住民の有志者による「高野地域協議会」を実施主体とし、公共ライドシェアを導入。

事業立ち上げ期には、地元の交通事業者である日本交通（株）からの協力により、ドライバーの安全講習を実施。

Outline プロジェクト概要

高野地域協議会を運送実施主体とし、地域住民自身の手による運行管理・配車管理の下、オムロンソーシャルソリューションズ（株）が開発した「meemo」アプリや電話予約を活用して送迎マッチング・配車を行うことで、住民同士の共助による公共ライドシェアを実施。

また、R7年度には新たな「meemo」アプリの導入によるさらなる機能拡充・利便性向上に向けた取組を実施。

Effect 想定される効果

住民同士の共助による送迎サービスを実施することで、高野地域住民の外出機会を創出するとともに、タクシー不足等の課題に直面する既存の公共交通の役割の補完を目指す。

Plan 今後の展開（他地域への事業展開構想・見通し）

同様の課題を有する他地域に対し、高野地域が一つのモデルとなることで、共助による地域交通の自立化を目指す。

共助による地域交通の自立化確立支援事業

「meemo」アプリや電話による送迎マッチング・配車を用いて、住民同士の共助による公共ライドシェアを実施することで、地域住民の外出機会を創出するとともに、タクシー不足等の課題に直面する既存の公共交通の役割の補完を目指す。

プロジェクトイメージ

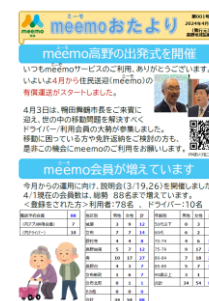
京都府舞鶴市高野地区

- 高野地域では、路線バス停留所や鉄道駅までのアクセスが難しく、またタクシー配車も一定の時間を要する地域であり、買い物や通院等の日常生活の移動に課題。
- このような課題に対し、住民同士の送迎サービスを実施するため、高野地域住民の有志者による「高野地域協議会」を設立。同協議会を公共ライドシェアの運送主体として登録。
- 同協議会においては、地域住民を会員として登録し、住民同士が相互にドライバー・利用者となり、運送を実施。
- 「共助による地域交通の自立化」を支える仕組み
 - ・ ライドシェアドライバーの地域自治への当事者意識を背景とした高い送迎マッチング率（98.8%と高い水準を実現（送迎数：836回／依頼数：846回））
 - ・ 地域の地理・利用者の個別事情に精通したコンタクトセンター（地元住民スタッフ）による柔軟な運行管理・配車差配
 - ・ 舞鶴市、オムロンソーシャルソリューションズとの定期的な意見交換により第三者の客観的意見を取り入れ運営を改善

もっと動いて、もっと会おう



電話でもアプリでも誰でも簡単に使える
住民の助け合いをつなぐライドシェアサービス「meemo」



「meemo高野」の情報をお知らせする「meemoおたより」を発行

Title

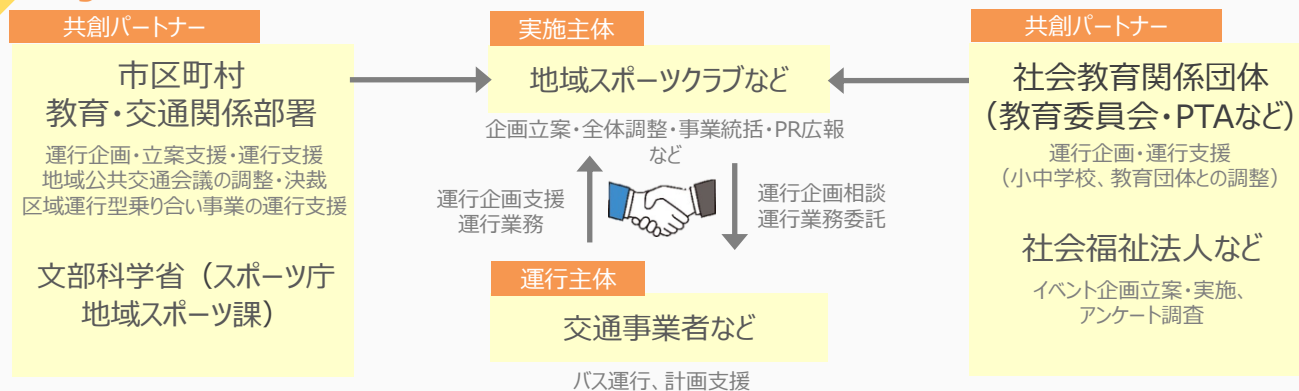
部活動の地域展開等に向けた移動手段の確保

Area R7年度 実証地域

- ・北海道士別市
- ・長野県東御市及び周辺
(小諸市など)
- ・岐阜県加茂郡白川町
- ・奈良県生駒郡平群町※
- ・長崎県雲仙市

※事業主体、パートナー企業・団体、関係省庁、プロジェクト実施の背景、概要等は、主に平群町の事業内容に基づき記載。

Project Members 事業主体、パートナー企業・団体、関係省庁など



Background プロジェクト実施の背景

路線バスの経路廃止や再編による運行数の減少により、特に、放課後の学童保育や習い事、部活動、地域クラブ活動においては保護者の送迎に依存し負担は大きい。地域住民の利便性向上かつ公共交通のリデザインによる活性化が急務である。

こうした状況の中、部活動の地域展開に当たり、保護者の送迎負担軽減と送迎の有無による体験格差を解消する取組が求められている。

Effect 想定される効果

移動手段が確保されることにより、少子化が進む中でも、子供が希望するスポーツ・文化芸術活動を主体的に選択し、継続して親しむことのできる環境の整備が見込まれる。

Outline プロジェクト概要

交通事業者や教育・公共交通分野、文部科学省が連携し、平日は幼児から中学生まで、休日は全世代を対象にこども園、学校、スポーツセンター、駅、住宅地等を結ぶバスを実証運行。

■ 実現目標

- ・部活動の地域展開（地域クラブ活動）を含めた子供たちの放課後活動の充実と安全な居場所づくり
- ・地域住民の日常生活を豊かにするスポーツや文化活動を支える移動手段の確保と健康づくりの機会創出

Plan 今後の展開（他地域への事業展開構想・見通し）

有用性検証を行い、より利便性の高い事業モデルを構築し、他分野、他地域への展開を推進する。

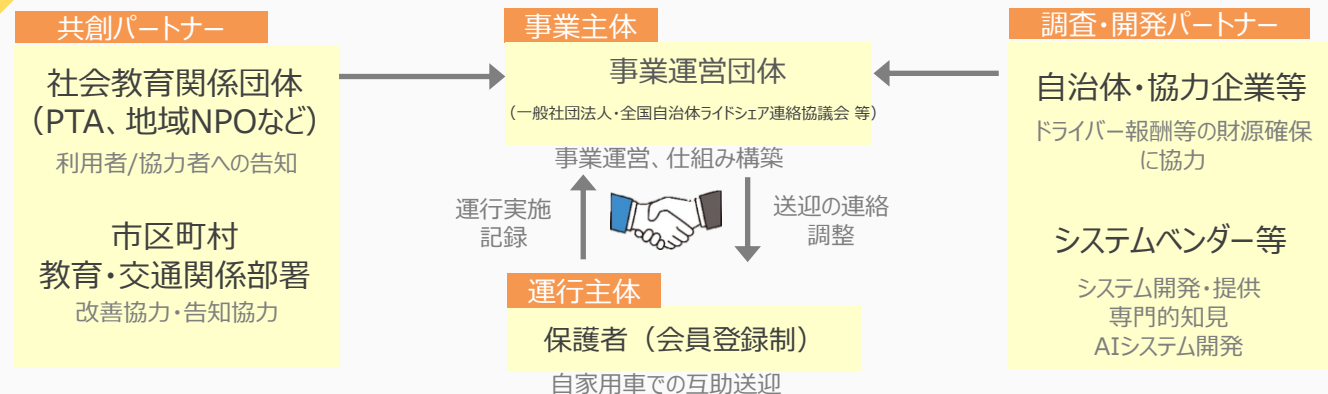
Title

子育て世代が担う共助版ライドシェア/小中学生の移動手段確保

Area R7年度 実証地域

- ・富山県射水市および
その近郊の市町
- ・福井県坂井市および
その近郊の市町
- ・佐賀県武雄市

Project Members 事業主体、パートナー企業・団体、関係省庁など



Background プロジェクト実施の背景

小中学校において、自分の学校で行われない部活動等が増えつつある。（部活動の地域移行）
その結果、送迎を伴わないと好きな部活や習い事、学習塾などを選択できない状況が深刻化し、放課後に送迎してもらえる子供と、してもらえない子供の教育格差が生まれ、習い事や学習塾も含めて、やりたいことを諦める子供が増えている。

Outline プロジェクト概要

地域住民や交通業者・教育・公共交通分野等が連携し、小中学生の通学等を対象に保護者による許認可の必要ない自家用車での互助送迎やそれに関連する調査等の実証を行う。
また、既存の地域交通とのネットワークなどの活用により、高齢者や学童に限定しない、地域の交通弱者が利用可能な移動の仕組み構築に繋げていく。

Effect 想定される効果

地域コミュニティの互助の力で解決することは、コスト面の観点から現実的である。地域住民自身が交通課題に関与する契機となり、地域の「自分ごと」として捉える意識醸成にもつながる。

Plan 今後の展開（他地域への事業展開構想・見通し）

有用性検証を行い、より利便性が高く収益性・持続性のある事業モデルを構築し、他地域への横展開を推進する。

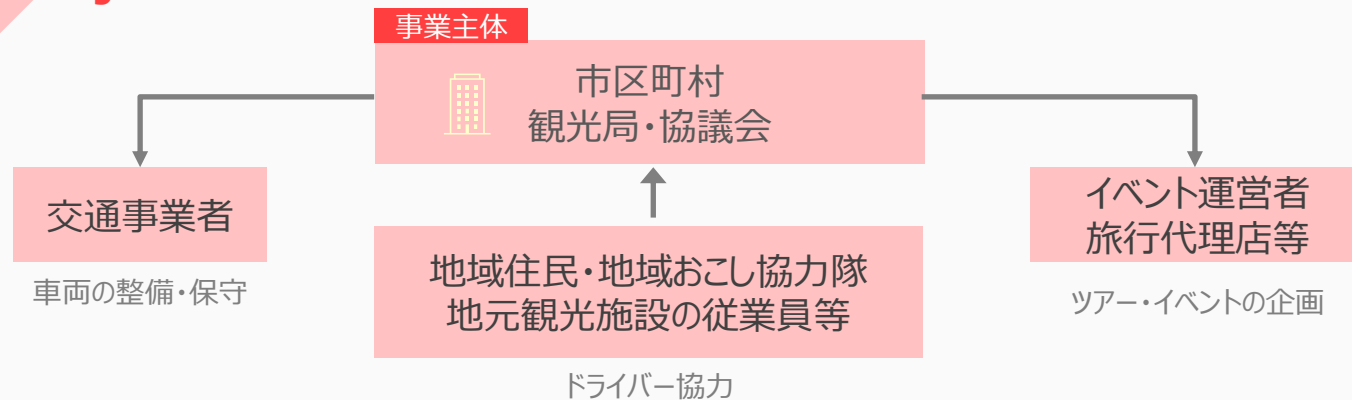
Title

観光と生活の足のハイブリッドの取組

Area R7年度 実証地域

- ・新潟県湯沢町
- ・長崎県佐世保市
- ・長崎県雲仙市

Project Members 事業主体、パートナー企業・団体、関係省庁など



Background プロジェクト実施の背景

観光地における公共交通が不足し、観光スポットを周遊する観光客や買い物・通勤等に向かう地元住民の移動手段が十分でなく、これを補完する交通手段の確保が課題。

Outline プロジェクト概要

地域住民や地域おこし協力隊や、観光施設の従業員等の協力のもと、温泉街等の観光スポットや商店等の生活拠点を結ぶ新たな日本版・公共ライドシェア等を実証的に導入。
また、複数の交通事業者と連携することにより、観光客、住民問わず誰もが利用できる交通手段を実現。

Effect 想定される効果

観光客及び地域住民・従業員ともに移動の足が確保されることで、観光客の増加や生活利便性の向上が見込まれる。

Plan 今後の展開（他地域への事業展開構想・見通し）

実証事業の評価を踏まえ翌年度以降に他地域での導入展開を図る。

観光と生活の足のハイブリッドの取組

観光地において、地域の協力のもと、公共ライドシェアを導入することで、観光と生活の足の双方を確保し、観光需要の増大とともに生活利便の向上を図る取組。

プロジェクトイメージ

長崎県佐世保市黒島

- 人口減少や高齢化により高齢者や移動手段を持たない島民が港や商店へ出る「生活の足」の維持が困難に
- 世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」等の観光スポットが島内に点在するが、それらを巡る「観光の足」が不足

長崎県雲仙市雲仙温泉

- 温泉街と市街地との通勤や、休憩時に近隣商業エリアへ出る「生活の足」がなく、利便性の低さから慢性的な従業員不足を招く
- 温泉周辺の観光地を周遊する「観光の足」が不足

公共ライドシェアを導入



地域の住民や労働者がドライバーとして協力

観光の足・地域の足を確保